

令和6年度施策評価シート（評価対象年度 令和5年度）

●基本情報

施策名	【5】義務教育の充実		評価番号	3-2-5
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり		
	基本施策	【2】特色ある学校教育の推進		
担当課（係）	指導課（庶務係）		学校教育課（学務係）	
担当課（係）	学校教育課（総務係）			

●施策の方向 ～PLAN～

施策の方向	○児童・生徒一人ひとりが輝き、地域社会に開かれた学校づくりを目指します。
-------	--------------------------------------

●令和5年度主な取組 ～DO①～

主な取組	①確かな学力を育む教育の推進					
取組内容	確かな学力を育むために、小学校1～3年生は町標準学力状況調査、小学校4～中学校2年生は県学力診断テストを行った。また算数、数学に特化した非常勤講師を配置するなど、個々の児童生徒の学力や学習状況を把握することにより、生徒一人一人の学力や学習意欲の向上に取り組んだ。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	学力向上推進事業	改善	4		
	2	小中学校非常勤講師配置事業	改善	5		
	3			6		
主な取組	②豊かな心を育む教育の推進					
取組内容	外部講師による俳句、美術指導を行い、豊かな心を育んだ。教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置、適応指導教室の設置により児童生徒が置かれた様々な環境に働き掛けて支援し不登校、問題行動、いじめ問題などへの解決に向けた支援体制の整備、充実に取り組んだ。中学生6名を平和記念式典へ派遣し、平和学習を行った。 教育活動に必要な教材の整備を実施し、また学校図書館司書を配置し、児童生徒に合った図書の充実を図り利用を促進した。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	総合教育支援事業	現状維持	7	中学校教育助成事業	現状維持
	2	教育相談事業	改善	8	児童読書活動推進事業	現状維持
	3	いじめ防止対策推進事業	改善	9	生徒読書活動推進事業	改善
	4	適応指導教室設置事業	改善	10	社会科見学等バス運行事業	現状維持
	5	非核平和事業	現状維持	11	中学校部活動補助金	現状維持
	6	小学校教育助成事業	現状維持	12		
主な取組	③健やかな体を育む教育の推進					
取組内容	中学生にとっての持続可能な部活動及び学校の働き方改革の実現を図るため、休日部活動の地域移行を行う。令和5年度においては、前年度の運動部の移行に加え、文化部の移行も行い、全14回開催、延べ933人の生徒が参加した。 学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、学校保健安全法に基づく健康管理上必要な検査を実施し、体育の授業や部活動など学校管理下での万が一の怪我などに備えるため、災害共済給付制度に加入した。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	地域クラブ活動推進事業	改善	4		
	2	児童健康管理事業	現状維持	5		
	3	生徒健康管理事業	現状維持	6		

主な取組	④社会の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進					
取組内容	楽しく外国語に触れながら外国の文化や習慣に対する関心を高め、臆せず英語を話し英語学習を楽しみコミュニケーション能力や国際感覚を育成するため、各学校へA L Tを配置し、チームティーチングによるきめ細かな行き届いた授業環境に取り組んだ。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	語学指導事業	改善	4		
	2			5		
	3			6		
主な取組	⑤自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進					
取組内容	特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する早期からの一貫した教育的支援を充実するため、教育支援委員会を開催する。 また、教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難を改善又は克服するために一人一人の教育的ニーズを踏まえた支援ができるよう各小中学校へ特別支援教育支援員を配置し、学習支援や学校生活における生活支援に取り組んだ。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	教育支援事業	改善	4		
	2	特別支援教育支援員派遣事業	改善	5		
	3			6		
主な取組	⑥教職員の資質向上					
取組内容	学校運営指導員を配置し、教職員研修会の開催や学校教育に関する助言を行った。また、町の教職員で構成する各研究部会において、小中学校児童作品展、科学・発明工夫展等を実施し、研究内容や成果、課題を評価し、情報交換を行うことで、教職員の学習意欲を高め、各種事業への取り組みを通して、人間性豊かな児童生徒の育成を図ることができた。 また、教職員が心身ともに健康な状態を維持し、教育活動に専念できるよう学校保健安全法等に基づく健康診断及び心理的な負担の程度を把握するストレスチェックを行った。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	教職員人事管理・研修事業	改善	4		
	2	利根町教育研究会事業	改善	5		
	3	健康管理事業	現状維持	6		
主な取組	⑦幼保小連携の充実					
取組内容	子どもたちの発達と学びを幼児教育から小学校教育へつなげていくため、各園及び学校が教育、保育を充実することはもとより、各園の教育、保育環境から小学校の学習や生活環境への円滑な接続を図るため、幼保小連携推進に取り組んだ。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	幼保小連携の充実	改善	4		
	2			5		
	3			6		
主な取組	⑧小中一貫教育の推進					
取組内容	子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」を育み、一人一人の可能性を最大限に伸ばすためには、子どもたちの心身の発達状況の変化に、教育内容や方法を的確に対応し、教育活動を進める小中学校の連携を進めていくことが必要である。また、児童生徒の実態から、教育相談を重視した取組を取り入れた。					
構成事業		事業名（取組名）	評価		事業名（取組名）	評価
	1	小中一貫教育の推進	拡大	4		
	2			5		
	3			6		

●事業費 ～DO②～

支出	主な歳出の節		令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳	1 報酬	30,913,082 円	35,788,559 円	35,179,755 円
		12 委託料	23,096,644 円	20,794,873 円	16,637,345 円
		18 負担金、補助及び交付金	3,798,550 円	4,421,920 円	13,315,454 円
		10 需用費	1,611,050 円	2,991,272 円	6,623,372 円
		17 備品購入費	1,584,767 円	3,333,572 円	2,516,319 円
		その他	6,173,696 円	2,857,572 円	2,841,182 円
	事業費 計		67,177,789 円	70,187,768 円	77,113,427 円
財源	主な歳入の科目		令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）
	内訳	国支出金	20,284 円	121,704 円	円
		県支出金	円	2,584,480 円	1,090,650 円
		受益者負担金	355,580 円	327,980 円	370,040 円
		地方債	19,400,000 円	19,100,000 円	10,000,000 円
		その他	円	円	円
		一般財源	47,401,925 円	48,053,604 円	65,652,737 円
	事業費 計		67,177,789 円	70,187,768 円	77,113,427 円

●評価 ～CHECK～

進捗状況	○ 順調	現状分析	確かな学力と豊かな心を育む教育の推進については、非常勤講師や学校司書等の配置により概ね順調に取り組んでいる。なお、中学校の図書は学校図書館図書基準に満たない状況であり、図書の充実については検討が必要である。 社会の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進については、A L Tを配置し、概ね順調に取り組んでいる。小学校では外国語活動・英語活動が教科化されていく中、英会話等の表現する力の定着が課題となっている。 特別支援教育の推進については、教育的ニーズに応じた体制として特別支援教育支援員を配置を行っているが、近年、学校の日常生活に適應できない不登校児童生徒や特性に配慮を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、その対応に適切に取り組んでいく必要がある。
	● 概ね順調		
	○ やや遅れている		
	○ 遅れている		

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	自立と社会参加を目指した特別支援教育を推進するため、特別支援教育支援員や教育相談員等の適切で効果的な活用について見直し、実態に応じた特別な配慮が必要な児童生徒に対する支援を行う。 グローバル化の急速な進展を受け、外国語によるコミュニケーション能力の向上が求められていることを踏まえ、社会に対応できる教育の推進のため、児童生徒一人一人に配布されたタブレット端末の活用を推進していく。また、授業でI C T機器を円滑に活用できるよう支援していく。外国語教育を通じて、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」などを総合的に育成することについて充実を図り、児童生徒同士で表現力の向上に向けて言語活動を多く取り入れた授業改善が図れるよう、教職員とA L Tとの合同研修会の機会を設ける。 児童生徒の豊かな人間関係を形成していくため、学校図書館司書と連携し、学校図書館図書標準の基準に満たない中学校の図書の充実に向けて検討していく。	